

有陰徳者必享其榮

(校名の由来額)



(細江利夫会長あいさつ)

享栄会報

平成26年2月吉日
第40号

名古屋市瑞穂区
汐路町1-26

享栄同窓会事務局
052-841-8151

会報編集委員会
委員長 澤山 晃

次回総会及び懇親会のご案内

平成26年度

享栄同窓会総会・懇親会を次の通り開催する予定です。

会員誘い合わせて是非ご参加ください。

一、日時 平成26年6月21日(土)

二、時間 午後5時～午後8時

三、場所 東急ホテル

中区栄四一六―八 電話〇五二二二五二二四二

四、会費 六、〇〇〇円

五、議題 一、平成25年度事業報告

二、平成25年度収支決算報告

三、平成26年度事業計画(案)

四、平成26年度収支予算(案)

五、その他

追記

① 準備の都合もありますので、出席される方は平成26年5月末日までに事務局へご連絡ください。

② 本会報ご入用の方は事務局までご連絡ください。即日送ります。





享栄高等学校 創立100周年に寄せて

享栄同窓会会長

細江 利夫

(昭和40年卒)

享栄高等学校創立100周年、誠におめでとございます。9月29日に記念式典が名古屋市公会堂にて挙行されました。午前中は生徒会主催の記念事業、午後からは来賓ならびに教職員、同窓会、PTA、在校生が出席し式典が行われ、同窓会より金一封を贈呈させて頂きました。式典終了後、前名古屋市長の松原武久様の「生きる力ー健全な自尊感情を育てる」のテーマで講演があり、引き続き午後5時からは公会堂の4階ホールに於いて愛知県知事の大

村秀章様を始め多くのご来賓をお迎えして懇親会が盛大に行われました。式典の中で、生徒会が企画をされて享栄高等学校100周年の歩みとしてのスライドを拝見したときには、私自身、大変感激を致しましたと共に、生徒会の皆様のご苦労されて立派に制作されました事、心より感謝を申し上げます。さて、同窓会では事務局長を柴垣旭延先生から加藤聖大様に交代させて頂き、柴垣先生には永年にわたり同窓会運営にご協

力ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

柴垣先生は4月より硬式野球部の監督に再就任され、享栄高校野球部ここにありの活躍を私ども同窓会一同願って止みません。

同窓会長として入学式、卒業式に毎年出席させて頂いておりますが、3年間の教育を受け立派に成長され巣立つて行かれます姿を拝見していますと、毎年ながら大変感慨深いものがあります。また、在校生の皆様には校訓であり、また「誠実に信頼される人」をモットーに、文武両道、日々精進して頂き、享栄高校が今後も125年、150年に向けてご発展されまことを願っております。

最後に、同窓会の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。



百周年記念式典・ 祝賀懇親会を終えて

享栄高等学校 校長

長谷川 信孝

去る平成二十五年九月二十九日、名古屋市公会堂において本校創立百周年記念式典・祝賀懇親会を開催しました。午前中は、在校生に対して百周年記念式典を植木PTA会長、細江同窓会会長を迎え、生徒と共に百周年を祝う事ができました。

午後から、愛知県知事はじめ、県の私学振興室や私学協会関係や県内小中学校校長会関係などのご来賓、同窓会、PTA、地域の役員の方々そして本校の旧職員の代表生徒三百余名とともに盛大に挙行することが出来ました。心より御礼申し上げます。

この百周年を機に、過去の資料を基に紐解いて「享栄高等学校百年の歩み」の記念冊子を発行しました。小冊子には、本校百年の重みが圧縮されています。歴代の理事長、校長、教職員の方々、多くの卒業生の方々の活躍、地域の方々の熱き援助など今日の享栄高等学校が成り立ちがよく分かります。今後、本校の校名の由来である「榮其享必者徳陰有」の「陰徳」を教育に積み重ね、次の百年に続くよう教職員一同、教育活動に邁進していく所存であります。同窓会会員のみなさま、どうか今後とも暖かく見守ってください。



さらなる100年に向けて

享栄学園理事長

垣尾 和彦

享栄学園は、本年創立100周年を迎え、9月に享栄高等学校、11月に本学園の記念式典を挙行いたしました。このような佳き日を迎えることができましたのも、日頃より本校教育活動に格別のご理解とご支援を賜っております皆様方のおかげと感謝申し上げます。

記念式典には、同窓会役員をはじめ多数の方々のご出席いただきましたこと誠にありがとうございました。また、多額のご寄付をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

私は、本年4月に佐治晴夫前理事長の後を受け継ぎ、第6代目理事長を仰せつかりました。

享栄学園には、第4代杉山榮子理事長から要請を受け、平成23年4月に常務理事として、その後、平成24年2月に副理事長に就任いたしました。

前職は、大阪並びに京都の学校法人（総合学園）で30数年間、教育学改革や経営改革に携わっておりました。本学園の100年に渡る歴史を振り返ると、幾多の困難もございました。そのような中でも建学の精神を一時も忘れることなく、伝統を重んじ、教育に力を注ぎ続けてきたからこそ、今の学園が在ると確信しております。さらなる100年にとって、私たちの成し得たことが学園の

歴史として刻まれること胸に、これまでの伝統をそのまま引き継ぐだけでなく、激変する時代の環境変化に応じた改革を実践し、後人に引き継ぐ重責を担う覚悟です。享栄高等学校は、創業者が教鞭をとった地であり、当初目指した実学教育のとおり普通科の他、商業科、機械科を設け、社会に出てすぐに役立つ実践的な教育を行っております。また、スポーツにおきましても国内外に活躍する人材を輩出しています。

多様化、個々の能力を活かした質の高い教育が求められる時代に、さらに生徒一人ひとりが予測不可能な時代を生き抜く力を養い、夢を実現できるよう、生徒及び保護者の目線に立つことを第一に考えた学園づくりを実践し、自ら考え解決する力を育て、力強く生き抜く多様性に富んだ教育を行ってまいります。

学園及び学校の発展には、在校生のみならず、卒業生のご活躍による本校の社会的評価が大きな力となります。学園の生徒、保護者、教職員とともに同窓会の皆様と体となつて学園を発展させていきたいと考えております。今後とも母校に対し、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。





享栄創立100周年を迎えて

宮内 信

(昭和50年卒)

建設ここに90年。いや早いもので今年には母校(享栄)は100周年と言うふしめの年です。

誠に月日のたつのは早いもので私も母校(享栄)を卒業して40年近く、もう38年の月日が過ぎました。

最近私自身の思い付いた言葉が三つあります。

一まず実行。二前向きに。一失敗を恐れない。

実際に物事は実行をしてみないと分かりません。実行をしてみず最初に結果がダメならば次のステップにその失敗がはずみで要領をつかみ成功への道へつながるのです。

そして物事に前向きにぶつかって行くのです。

そうしないといつまでもあとずさりしては、成功への道は開けてきません。物事は何でも実際にやってみて経験体験をして勝ち取るのです。ですから享栄も今後歴史に残すには二つ体験、経験を積み重ねて今後の発展に結び付けたいものです。

最後にこれからの享栄の益々の発展、皆様のご健闘、ご健康をお祈りしてお祝いの言葉にかえさせていただきます。



「私の高校生活」

西川 守道

(平成4年卒)

高校時代の三年間、特に大きく自慢できる功績を残した訳でもない私に、突然来た原稿寄稿の話。

思い返してみると、私の高校生活は、部活に専念した三年間だった。

中学から始めた吹奏楽を続けたいと、入学と同時に迷わず吹奏楽部に入部。以来、四十才になっても続けていられるのは、高校時代にしっかりと基礎を習ったおかげでもある。人数こそ少なかったが、毎日仲間と会うのが楽しみで授業が終わるとすぐ部活に参加する毎日だった。少人数だったので、コンクール等の大きな催しに出場する事はできなかったが、高校野球の

応援で思いっきり音が出せたし、何より一年生の春に甲子園で演奏する事ができたのは、私にとつてとても貴重な経験になったし、良い思い出を作ることができたと思う。

また、恩師にも恵まれていた。

顧問である菅沼先生を始め、外部講師であった(故)佐藤先生、その他にも沢山の先生方に指導、又応援を頂き、充実した活動ができたと思う。



享栄高校での思い出

渡邊 和雄

(平成14年卒)

私は平成十四年三月に卒業しました。卒業した後は東京の私立大学へ進学し、現在は名古屋市の小学校に常勤講師として働いています。プライベートでも、同期や先輩、後輩の享栄卒業生と出会う事が多く、お世話になった先生や旧校舎での思い出話に花を咲かせることも度々あります。

享栄在校時での思い出は二つあります。一つ目は部活動です。私はワープロ部に所属していました。この部活は、ワープロ検定の合格に向けて練習をしていましたが、練習するだけでなく横のつながりを大

切にしていました。検定試験の日が近づくと、一緒に時間をはかって模擬試験を行ったり、メンバーさんの頑張りを褒めて励ましたり合つて、協力して活動をしていました。三年の時には部長を経験し、部のメンバーさんが団結して取り組めるよう、努めて行きました。また、顧問の先生や同期後輩に支えられながら部長をすることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいですが、ちなみに、当時の部活メンバーさんとはいまでも交流して楽しんでます。

二つ目は、諸先生方との思い出です。

す。私は元々進学したい大学があったのですが、担当の先生から相当厳しいとの返事を受けました。そのことを契機に二年発起し、学業に一生懸命取り組みました。

国語科であった担任の先生には、感想文の添削をしていただいたり、数学の先生には毎朝授業前に数学の問題を対で教えてくださったたりしていただきました。今振り返ると、わがままな自分に反省しつつも、勉強を教えて下さった先生方に本当に感謝しています。

高校三年間で経験したことは、今でも反省しなければと思うことでもあります。とても充実したものであると実感しています。お世話になった教職員の皆様、ありがとうございました。享栄高校の更なる発展を陰ながら応援し続けます！

す。私は元々進学したい大学があったのですが、担当の先生から相当厳しいとの返事を受けました。そのことを契機に二年発起し、学業に一生懸命取り組みました。

国語科であった担任の先生には、感想文の添削をしていただいたり、数学の先生には毎朝授業前に数学の問題を対で教えてくださったたりしていただきました。今振り返ると、わがままな自分に反省しつつも、勉強を教えて下さった先生方に本当に感謝しています。

高校三年間で経験したことは、今でも反省しなければと思うことでもあります。とても充実したものであると実感しています。お世話になった教職員の皆様、ありがとうございました。享栄高校の更なる発展を陰ながら応援し続けます！

す。私は元々進学したい大学があったのですが、担当の先生から相当厳しいとの返事を受けました。そのことを契機に二年発起し、学業に一生懸命取り組みました。

食を通じて、お客様へ安心と健康をお届けして 50 年。トヨタ自動車(株)様・トヨタ関連企業様をはじめ、数多くのお客様から信頼をいただいております。

企業・学校内食堂の受託運営及び仕出し料理のご用命は

中川給食株式会社

代表取締役社長 岩 月 宏 之(昭和36年卒)

豊田市土橋町5-38 TEL (0565) 28-0948
中川給食のホームページ <http://n-kyushoku.co.jp>



恩師だより

水野 敏伸

卒業生の皆様には、ますますご健勝のことと思います。そして未熟な自分を励ましてくださった保護者の皆様にも大変感謝しております。大学を卒業後、この享栄高校に赴任し初めて教壇に立たせていただいたことが大変懐かしく思い出されます。担任を持っていたクラスの皆さんの卒業式も昨日のことのように思い出されます。文化祭でダンボールを集めて迷

路を作ったこと、巨大壁画を作るために色紙を小さく切って夜遅くまで貼ったこと、入学試験のエントリーシートや小論文を一緒に考えたことなどが自分にとっても大変懐かしい思い出となっています。そして、就職や進学に合格したときの皆さんの笑顔で来校してくれたとき、本当にこちらの気持ちも温かくなります。卒業後の皆さんにはその後、も

しかしたら、困難なこともあったかと思えます。現在も困難な状況を必死で乗り越えようとしている最中かもしれないかもしれません。そんな時は是非、母校の享栄高校を訪ねてください。

「進路を決めて卒業だぞ」……今でも変わらず言っています。皆さんのお子さんが享栄高校に入学されたら皆さんに言っていたように一生懸命指導してみたいと思います。そんな日がいつか訪れて欲しいと思っています。

最後に、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



恩師だより

大矢 貴子

卒業生の皆様、お変わりございませんか？平成十二年にご縁があつて享栄高校に勤務して以来、十四年になるうとしています。新任で三年生の担任を持たせていただき、初めて卒業生を送り出した日を今でも忘れられません。当時は先生方に温かく仲間として迎えてもらい、保護者の方々にもご理解と協力をいただきました。三年生という大切な時期にクラス

の生徒達に迷惑を掛けられないと日々、懸命に取り組んでいたと思います。卒業の時に「先生ありがとう」とクラスみんなから声をかけてもらい涙したことを懐かしく思い出します。

最初の卒業生達も今は三十歳を過ぎ、家庭を持ち、子どもを持ち、親として立派に頑張っています。

俺は会社を立ちあげると言っていた卒業生も夢を実現し、社長として活躍しています。年に一度は数人で集まって食事をしています。ですが、いつも私の方が、「頑張ってる」と励まされています。今では卒業生に会えることが楽しみの一つになっています。

また、年賀状のやりとりしている卒業生もいます。最近では、卒業生の母として保護者の方も年賀状をくださいます。成人式の写真を載せていただいたり、近況をお知らせいただいたり、年に一度の嬉しいご挨拶です。時折、卒業生の方々が学校帰りや、仕事帰り、休みの日などに学校を訪ねてくれて、近況報告してくれませんが、「輪」を実感し、教員としての喜びを感じます。

今年度は受け持った卒業生が不幸にも交通事故で他界し、急遽連絡を取り合うことになりました。夏頃に学校を訪ねて来てくれて、大学も続いているし、アルバイトも頑張っている、笑顔で話をしたので、今でも亡くなったという実感がなく、残念でなりません。

本校は今年で創立百周年を迎えました。創立百周年の記念式典・記念誌を拝見すると、学校としての歴史を深く感じます。在校中の運動部の大会での活躍や、文化部の競技会での活躍も然ることながら、卒業後の各界での活躍は素晴らしく、教員として現場で携われたことを光栄に思っています。

厳しい教育現場の中で、相変わらず、私の方が生徒から、支えら

れ、助けられ、教えられているように思います。

在学中に結んだ「縁」が卒業してからは、享栄高校という「輪」として繋がっていたいと思います。

卒業生の皆様から、私の子どもも享栄高校で学ばせたいと思っていただけのような高校であり続けるよう

「誠実で信頼される人に」という教えをもとに、私もこれからの教員生活を重ねていきたいと思っています。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りいたします。

練習生募集

君もチャンスをつかもう!!

畑中ボクシングジム

会長 畑 中 清 詞 (S 60 年卒業)

(第 13 代 WBC 世界 S. パンタム級チャンピオン)

名古屋市北区上飯田西町 2-30-2 TEL (052) 911-2169



挑戦

享栄高等学校の近況報告

1. 管理職及び同窓会担当者

校 長	長谷川 信孝	副 校 長	南保 眞一	学 監	浅井 富士雄		
教 頭	伊藤 誠浩	教 頭	尼子 理志	事 務 長	坂野 勝彦	教 頭 補 佐	山田 秀和
総 務 主 任	大島 律	同 窓 会 係	上野 文也	同窓会事務局長	加藤 聖大		

2. 教職員数

教 職 員	非 常 勤	合 計
96	38	134

3. 在籍生徒数

	1 学 年	2 学 年	3 学 年	全 体
男 子	416	375	343	1134
女 子	228	174	159	561
計	644	549	502	1695

4. 校訓

「誠実で信頼される人に」(建学の精神)

5. 基本理念

『教師が変われば生徒が変わる。生徒が変われば学校が変わる。』を基にして、生徒ひとりひとりを大切に、自己実現が図ることができる教育

6. 目指す学校像

「面倒見の良い学校」
1. きめ細かく丁寧な教育をする学校 2. 夢と感動のある学校 3. 安心できる学校 4. 地域に評価される学校

7. 平成24年度卒業生の進路結果(420名卒業)

	卒 業	大 学	短 大	専 門	就 職 等	主な大学名: 名古屋大学・愛知県立大学・中央大学・日本大学・愛知大学・中京大学・名城大学・愛知淑徳大学・愛知学院大学・金城学院大学・名古屋学院大学・大同大学・中部大学・日本福祉大学・愛知東邦大学・鈴鹿国際大学・名古屋情報メディア専門学校 他
普通科	154	88	6	25	35	主な就職先: 愛知機械工業(株)・(株)アオキスーパー・(株)上組名古屋支店・杉本食肉産業(株)・東海興業(株)・東海西濃運輸(株)・トヨタ車体(株)・日本車両製造(株)・日本通運(株)・(株)フィールコーポレーション・フジパンググループ本社(株)・ヤマト運輸(株)・自衛隊(陸上) 他
商業科	168	18	6	60	84	
機械科	98	19	1	19	59	
合 計	420	125	13	104	178	

8. 平成24年度部活動・個人の活躍

ボクシング部	全国高等学校総合体育大会	ライトウェルター級 2回戦 但馬ミツロ
	全日本高等学校ボクシング選抜大会	ウェルター級 2回戦 池内健太
チアリーディング部	Japan Cup 2012 チアリーディング日本選手権大会	出場
ボウリング同好会	JOC ジュニアオリンピックカップ 全日本高校ボウリング選手権大会	出場: 山田伸明
	文部科学大臣杯争奪 全国高等学校ボウリング選手権大会	出場: 長安基之 西田良平 山田伸明
スピードスケート	全国高等学校総合体育大会 冬季大会	出場: 柏木敦司
	国民体育大会 冬季大会	出場: 柏木敦司
サッカー(個人)	U-16(FIFA U-17 ワールドカップ2013)	日本代表 青山景昌

9. 平成25年度の主な学校行事

月	行 事
4	5日 入学式 8日 始業式 10～26日 個人面談指導 13日 学級懇談会 17～19日 1年生野外合宿
5	14～17日 中間試験 18日 土曜セミナー・PTA総会・街美ボランティア 31日 映画鑑賞会
6	1日 創立記念日 3～13日 研究授業月間 15日 同窓会総会・土曜セミナー
7	1日 求人受付開始 1～5日 期末試験 19日 終業式 22～26日 保護者会
8	2日 第1回体験入学会 21日 全校出校日 22日 第2回体験入学会
9	2日 始業式 3～13日 個人面談指導 16日 就職試験開始 21日 土曜セミナー 28～29日 文化祭
10	2日 体育祭 15～18日 中間試験
11	2日 第1回学校説明会 4日～9日 修学旅行 9日 第2回学校説明会 15日 演劇鑑賞会 16日 第3回学校説明会・土曜セミナー 22日 100周年記念式典(学園) 23日 第4回学校説明会 29～12月5日 期末試験 30日 第5回学校説明会
12	7日 第6回学校説明会 17～19日 保護者会 20日 終業式
1	7日 始業式 15～21日 卒業試験 29日 推薦入試
2	4日 一般入試 10日 予餞会 25日 卒業式 27～3月5日 学年末試験
3	20日 終業式 22日 新入生登校日

部活動だより

硬式野球部

【部 長】細川 将功



【監 督】柴垣 旭延



【副部長】彦坂 明人



【コーチ】上野 文也



野地 雄次



中嶋 亮太



OBの皆様には、平素よりご支援を賜り有難うございます。

本年度の顧問は、八年ぶりに監督として現場に復帰された柴垣旭延をはじめ、部長―細川(商業)・副部長―彦坂(体育)・コーチ―上野(社会)・野地(体育)、本年度より赴任しました中嶋(商業)の六名です。部員は三年生・三十一名、二年生・二名、一年生・二十二名の合計七十四名です。中嶋コーチは、岐阜城北高校出身、愛知学院大学を卒業。指導者としての経験はありませんが、若さと野球への情熱をもって選手達を引っ張ってくれています。

さて、夏季大会におきましては大変暑い中、多くのOBの方々に応援を頂きまして誠にありがた



うございました。今年の二月より、古豪復活を期待され柴垣監督への交代がありました。選手達には『走姿頭心(そうしけんしん)』(走る姿に、心が頭(かしら)われる)を合言葉に全力で野球に取り組むことを徹底させ、夏の県予選に挑みました。ですが残念ながらベスト8で敗退し、創立一〇〇周年の節目の年に花を飾ることができずに悔しく思っております。

新チームでは、一層の努力を積み重ね、全力で野球に取り組む、夢に一歩でも近づけるように戦つていく所存でございます。

第65回愛知県高等学校野球選手権大会

平成24年9月8日(豊田球場)

三好 001001000—2
栄 201041001—9

平成24年9月9日(豊田球場)

刈谷 210101010—6
栄 00100010000—2

第63回愛知県高等学校優勝野球大会

平成25年4月13日(阿久比球場)

瀬戸 00000—0
栄 0046×10

平成25年4月20日(春日井市民球場)

起工業 000100000—1
栄 100030004—8

平成25年4月27日(春日井市民球場)

中京大京 20100032010—18
栄 00030001401—9

第95回全国高等学校野球選手権 愛知大会

平成25年7月20日(瑞穂球場)

半田工 010300001—5
栄 000000000—0

平成25年7月22日(瑞穂球場)

名古屋市工業 113120002—8
栄 010000080×—9

平成25年7月23日(豊橋市民球場)

佐織工業 010000000—1
栄 010400011×—7

平成25年7月27日(刈谷球場)

東邦 10000010—2
栄 00000225—9

平成25年7月28日(岡崎市民球場)

中部大第 0000001400—5
栄 000100080×—9

軟式野球部

【部 長】松山 直樹



【監 督】尾俣 治義



【コーチ】蔭地野由晃



谷出 基貴



軟式野球部は現在十三名の部員数で活動しております。

専用のグラウンドが無い為に毎日マイクロスコープで移動し色々なグラウンドで練習をしております。夏場こそ長く練習時間を持てますが、その他の時期はグラウンドまでの移動に時間を要し短時間しか練習できないのが実状です。よって春休みには遠征をして他校との練習試合を組むことによつて練習場所の確保と技術の向上を目指しております。

ジブシーの様にグラウンドを転々として本当に大変な思いをしております。指導者として最高の練習内容をしていこうと思っておりますが、何時でも練習できる他校とはハンデが大きく試合結果につながっていないのが現実です。

今年の全国大会につながる県予選では二回戦敗退、私学祭も二回戦敗退。新チームで挑む新人戦は四年ぶりに予選を突破し県大会出場を決めました。まだまだ未熟です。

試合の勝敗だけが指導ではなく「挨拶と礼儀」を重んじた「心の人間形成」の指導もあり、後者では他校に負けないチーム作りをしていると自負しております。



未熟なチームではありますが、最終の目標は全国大会に出場することであり、その目標に向かって頑張っていきます。どうか同窓会の皆様もよろしくご支援の程お願い申し上げます。

ボクシング部

【顧問】中島 邦晴

岡本 泰典



インターハイ出場

享栄高校として六年連続インターハイ出場となりました。しかし、今年は県大会で有力選手が自分の実力を出せなかったことや高校からボクシングを始め、初めての試合だった選手が多かったことも関係して、それぞれの選手が奮闘したものの県大会優勝には及ばず三年生の近藤智大一名の出場となりました。

佐賀県で行われた第六十八回全国高等学校総合体育大会ボクシング競技では、周りにいる全国の強豪たちにも引けをとらないボクシングを展開しました。自分の三年間の集大成をこのインターハイにぶつけるんだという本人の闘志が、リングの外にいる私たちにも伝わってくるような試合でした。勝負の結果は判定までもつれ込み、我々も近藤の手が挙がることを祈っていました。審判は近藤の手を挙げませんでした。

近藤にとって初めての全国大会というところで緊張するかと思っていたのですが、硬くなりすぎることなく試合に臨むことができました。一年生のとき部活動と学校生活の両立に悩んでいた新入生がこの舞台に立ち試合をしている姿を見て、生徒の成長を感じました。全国大会出場という目標を掲げ、努力し続けた結果がインターハイ出場という形になり本当に良かったと思います。今大会でさまざまな経験を積み、更に心身ともに成長したので、新しいステージに上がっても一層の活躍が期待できると思います。

また近藤の背中を見た後輩たちも刺激を受け、来年は自分が全国に行くんだと日々練習に励んでいるので、これからの成長が期待されます。現在、二年生四人、一年生はまだ仮入部の段階ですが十一人の計十五人で活動しています。夏休みには福井県鯖江市で福井県連盟の合宿に参加しました。合宿の中でさまざまな経験を積み、ボクサーとして人として大きく成長することができた合宿になりました。部の雰囲気も大変よく、今は二年生は先輩に続けと、二年生は同期に負けないようにと全国大会出場を目指して練習に励んでいます。それぞれ、怪我をすることなく悔いのない練習をして大会に臨んで欲しいと思います。今後ともご声援よろしく願います。



ソフトテニス部(男子・女子)

【顧問】中川 孝浩

鈴木 直也

新井 彩香

照井 敏彦



現在、ソフトテニス部は男子二十二人(二年生七人・二年生四人・三年生十一人・女子七人(二年生三人・二年生二人・三年生二人)の総勢二十九人で活動しています。夏に三年生が引退して現在人数も減りましたが、二年生を中心として、生懸命練習に取り組んでいます。今年度は男子は愛知県総合体育大会で団体戦三位と惜しくも



団体戦で全国大会出場はできませんでしたが、東海大会に出場し、ベスト8の成績を残す事ができました。また、個人戦では小池・水谷ベアが愛知県総合体育大会で三位入賞し、出場県で行われたインターハイにも出場しました。さらに、国民体育大会予選大会には男子だけでなく、女子も二ペアが出場することができ、女子部員も頑張っています。新チームになつてからも、名南支部の学年別大会で男子二年生、原浅生ベアが優勝、長谷川・伊藤ベアが三位という成績を残しました。今は新人戦に向けて男女ともにチーム丸となつて頑張っています。

「もう少しだぞー！」と、声を沢山かけてもらったおかげで自分の走りを乱すことなく完走することができました。私が三年間新潟合宿に参加して学んだこと、それは親や先生方への感謝の気持ち、そして仲間への大切さです。一年、二年の時も学びましたが改めて実感しました。これからの日々の生活の中でこの三年間で得たことを生かしたいと思っています。そして私は志望大学に合格したあと四年間陸上競技を続けたいと思っています。もし大学で陸上を続けることになったら享栄陸上部で学んだ事、そして一緒に合宿を乗り越えてきた仲間のことを思い出しながら大学でも一生懸命陸上に取り組みたいと思います。

陸上部

【顧問】八木理恵子

田畑 伸晃



私は四日間の新潟合宿に参加したのは三回目になります。今年の合宿は私たちが最上級学年ということもあり、後輩たちを最後まで引っ張っていかなければならないので部長として皆をまとめること

私ができるか不安も多々ありました。私自身、去年の合宿で約百キロの距離を完走しましたが、皆から遅れて走り終わることがあったので今回は皆から離れることなく完走しようとした。今年の合宿は参加人数が六人と例年に比べたらとても少なく、その分二人一人が練習中の声かけなどをいつも以上に自分から出していかないと意識しながら走りまわりました。二日目の練習中に右足を痛めてしまい、中々自分の走りをする事ができませんでした。しかし、陸上部の仲間が、「相川ファイト！」

と、声を沢山かけてもらったおかげで自分の走りを乱すことなく完走することができました。私が三年間新潟合宿に参加して学んだこと、それは親や先生方への感謝の気持ち、そして仲間への大切さです。一年、二年の時も学びましたが改めて実感しました。これからの日々の生活の中でこの三年間で得たことを生かしたいと思っています。そして私は志望大学に合格したあと四年間陸上競技を続けたいと思っています。もし大学で陸上を続けることになったら享栄陸上部で学んだ事、そして一緒に合宿を乗り越えてきた仲間のことを思い出しながら大学でも一生懸命陸上に取り組みたいと思います。

バレーボール部(男子・女子)

【顧問】小澤 大輔



大島 律



酒向 俊幸



神谷 修平



鈴木 健悟



バレーボール部は、男子・女子・二年生四名・二年生三名の計七名で活動しています。新入部員の中には経験者もいますが高校からバレーボールに興味を持って入部した部員もいるため、夏まではチームとして基礎体力向上と基本的な練習を中心に活動してきたので、まだ練習試合や公式戦への出場はしていません。しかし、今後の予定としては、まず練習試合をどんどん組んでいき、試合の雰囲気慣れさせてきたら、公式戦へ出場したいと考えています。また、社会人になっても恥ずかしくない様に礼儀・マナーも身に付けさせています。

このチームは人数が少ないというところもあり、みんなとても仲が良く、団結力のあるチームです。辛い練習なども一、二年生関係なくお互いを励まし合いながら取り組んでいます。少しでもうまくなるように、一人一人高い意識を持って練習しているので今後が楽しみです。これから応援をよろしくお願いします。

サッカー部

【顧問】永田 伸輔



井口 琢麻



現在サッカー部では、三学年で四十五人が活動しています。今のサッカー部は本場に全員欠席もなく学校生活まで厳しくしている中で、サッカーには全員が真剣に向き合い県BEST32を目指し日々努力しています。



夏の遠征では四十七名の中から二十五名を選抜し、石川県の和倉温泉に全国の強豪校が集まるサッカーフェスティバルに参加しましたが、勝しきでできず大きな課題を抱えて愛知に帰ってきました。

その課題の克服に向け愛知で強化に励み更に強くなるために部員全員で長野県の本島平に強化合宿を張りしました。選手は朝から日が落ちるまでボールと向き合い、日が落ちてからもミーティングでチームワークを高めていきました。

あとは結果を出せるように日々課題と向き合っていきます。

バスケットボール部(男子)

【顧問】清水 大介



前川 進也



バスケットボール部は、二年生四人・二年生七人の合計十二人で新チームとして、始動をしています。

平日は、享栄高校の体育館を使って日々個々の能力を向上させるためにドリブルワーク、シュート練習、ディフェンス練習、二対一等を中心に練習に励み、休日の練習では、オールコートを使ったチームプレーの練習や練習試合を組み、チーム力を向上させるために日々努力しています。

バスケットボール部では、四月にインターハイ予選を始め、七月に私学祭、八月に夏期名南選手権、十月に冬の選抜、一月に新人戦が主な公式戦になります。

これからもバスケットボールが大好きな選手スタッフ一同で、公式戦に向けて勝利できるよう、日々トレーニングに励んでいきます。



バスケットボール部(女子)

【顧問】矢野 好明



樋口 秋晴



私たち女子バスケットボール部は現在八人で活動しています。主な練習内容は、ドリブルやパス、シュートなど基礎練習を中心に毎日行っています。土曜日は練習試合を行う機会が多いです。時々男子バスケットボール部と合同でオールコートを使った走り込みやゲーム形式の練習をしています。夏休みには知多で合宿を行い、日頃やっている練習より厳しいですが、いつもとは違う環境の中で楽しさもあります。

顧問の先生は、放課後の仕事がたくさんある中忙しい合間を縫って指導に来て下さるとても熱心な先生です。時には厳しいときもありますが、とても明るくユーモアのある先生方です。

現在の目標は、練習してきた事が試合や大会で出来るようになることです。少しでも多くの試合に勝てるように日々の練習を頑張っています。



柔 道 部

【顧問】宇野 博

川合 政幸

佐々木康治

金田 進作



柔道部には今年度、新一年生の男子が一名加わり、男子五名の部員で毎週月曜日から土曜日までの週六日間、二日三時間程度活動しています。

部活動報告といたしましては、四月に行われた高校総体名南支部予選会において男子団体は残



念ながら予選突破することはできませんでしたが、五月に行われた県大会個人戦において二〇〇kg級に出場した二名の生徒がベスト16まで勝ち進むことができました。

私が柔道部の指導者として掲げる目標は、柔道の厳しい稽古を通して生徒の人間教育を行うことです。厳しい稽古を乗り越えることで、苦しいことに立ち向かう強い精神力・忍耐力を身につけさせ、社会で活躍できる立派な生徒を育て上げたいと考えています。

部員が三学年合わせて五名と少ないですが、部員同士とても仲が良く、上級生も下級生に対して積極的な指導を行ってくれています。また部員全員が真面目に練習に取り組み、自らすすんでトレーニングや技の研究を行っており、日々成長を感じることが出来ます。今後の活躍がますます期待できる生徒ばかりです。

三年間部活動を続けること、柔道経験者の証である黒帯を取得することが現状における生徒の大きな目標ですが、今後も県大会出場、憧れのインターハイ・東海大会出場を大きな目標として一生懸命指導に取り組んでいきたいと思



ハンドボール部

【顧問】鈴木 準平

岡安 伸治



私たちハンドボール部は、今年度新一年生が八名加わり、二年生十二名と合わせて二十名の部員で毎週月曜日から土曜までの六日間、一日三時間程度活動しています。

また、休日には他校との練習試合を積極的に行い、個々の技術やチームの連携を高めています。ハンドボールという競技は、キーパーを含め七人で、試合は前半、後半合わせて五十分で行われます。コートはバスケットコートよりも大きいサイズで行われています。ルールはバスケットボールのドリブルやパスの様にボールを回し、フットサルと同様のゴールに投げ入れる。醍醐味は何といつてもシュートシーンとスピード感溢れる試合展開です。激しく体をぶつけ合い、ディフェンスをかき分け、ゴールを狙う。エキサイティングなプレーは一度見たら必ず虜になるはずです。

昨年は一年生チームで各大会に出場しましたが、良い成績を残すことができませんでした。

今年、新しいチームメイトを加え、活気溢れる良い雰囲気の中で日々練習を行っています。人数が増えた事で、コンビネーションプレーの練習もできる様になり、各ポジションで先輩が後輩に指導する場面も増えてきました。部員一人一人が日々高い意識を持ち、練習に励み、切磋琢磨して成長しています。限られた時間、練習環境で質の高い練習をすることが大切です。共に汗を流し、互いがライバル

として日々の練習に励み、まずは公式戦一回戦突破を目標に頑張っていきたいと思っています。

卓 球 部

【顧問】水野 敏伸

宮本 章令



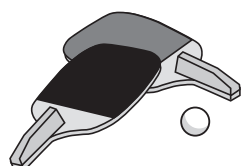
卓球部は、現在男子十三名、女子二名で活動しています。

毎日の練習は基本をしつかりと身につけるというのを第一の目標にして行なっています。

授業終了後、フォアやバック、サーブを集中的に練習します。そして、二球目、三球目と徐々に実践に近い練習に移り、その後、個人戦を行うことで練習内容の確認を行います。

練習を通しての目標は、「試合で二回でも多く勝つこと」です。経験者もありますが、初心者に対してもラケットの正しい持ち方から経験者が教えるという姿も見られます。

夏休み中に行われた支部戦では、男子がダブルスで三位という結果もできました。一回でも多く勝つというのを目標に毎日の練習に励んでいます。



山 海 堂 調 剤 薬 局

〒460-0011 名古屋市中区大須二丁目29-43

TEL 052-204-8577 【FAXでも調剤を承ります!】

FAX 050-3730-2456

チアリーディング部

【顧問】元住 沙織



松尾 崇広



安田 早希



今年度も昨年同様、ジャパンカップ出場を目標に新チームをスタートさせました。二・三年生は新生のバックアップをするための体制を作り、新入生獲得に必死になりましたが二年生の部員は一人も残りませんでした。

大会の競技部門出場資格は八名以上。享栄高等学校は今年度、競技部門での出場ができませんでした。競技部門での出場辞退を決定させた日、三年生はもちろん全員が大泣きました。自分自身を責める者もいました。この大会のために毎日必死に練習してきただけに、その思いは痛いほど



どわかりました。しかし、決定させたあと練習場所に戻った選手達はもう泣いていませんでした。エキシビジョン部門で二チームだけ変えて、自分達で二歩踏み出したんだと思います。それからの選手達の思いは、指導者の私を元気づけてくれるくらい強くたくましいものでした。

大会当日、見事ノミスで演技を終え『奨励賞』を獲得しました。今年の三年生は二月の中旬に行なわれる全国高等学校チアリーディング選手権大会を最後に引退します。三年生をここまで残す理由は、後輩達に自分達の技術や気持ち、愛情を全て注ぐためです。愛情を受けた選手は必ず成長し、自分の後輩達に伝えることができます。今何を伝えていかなければいけないのか、三年生達はそれを毎日考えながら後輩に接していることと思います。三年生引退後の部員数は二名です。今はこの二名の思いが下に繋がっていくことを願うばかりです。

吹奏楽部

【顧問】山林 唯



長坂 綾子



享栄百周年記念定期演奏会に向けて

今年度は、吹奏楽部史上最多の四〇名の部員で活動を始めましたが、新入生の部活動定着が叶わないほか、様々な事情で三名での活動に落ち着き、夏のコンクール(朝日大会と中日大会)に挑戦しました。

部員の構成(八月現在)は、三年生十二名、二年生四名、二年生十六名です。半数が一年生という構成と、相変わらずの初心者集団ということ、なかなかレベルアップが難しい現状ですが、地道な活動を続けていく過程で、少しずつ音楽の楽しさが増しているようにも感じています。

特に今年度は、夏に行われた中部日本吹奏楽コンクール名古屋大会において、実に六年振りとなる『銀賞』を頂くことができました。けつして我慢できる賞ではありませんが、生徒はいつも全力で頑張る、真剣に吹奏楽に取り組んでいます。その見返りとして「せめて銀賞が欲しい!」というのが顧問の悲願でもありました。生徒たち自身も今回の『銀賞』は歓喜と涙で感動が満ち溢れていました。

二学期以降の活動予定は、恒例の享栄祭オーブニングファンファレとクラブ発表演奏、昨年初出演させていた「名古屋シティハンデイマラソン」の式典とパレードでの合同演奏(予定)、交流のあ

る学校との合同バンドでの演奏会や、ボランティア演奏、様々な地域の行事や演奏会に出演を予定しています。年明けの平成二六年二月二日(日)には、アトピアホールにて「第二回定期演奏会」享栄百周年記念定期演奏会」を予定しています。好評頂いているステージ構成に加え今年は、百周年記念ステージを計画し、姉妹校である栄徳高校吹奏楽部との共演も予定しています。部員一同皆様のご来場をお待ちしています。今後とも、皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

写真部

【顧問】伊藤 哲夫



今年度は一年生が五名入部し、全員で二〇名になりました。やつと二桁の部員数となり、定例部活として週二回(それ以外には各自が自由撮影を行うなど)活発に活動しています。

今年度の活動の特徴は、昨年に引き続き「夏の合宿」を実施し、「愛知県私学美術展(私学展)」に出品を目指しているところです。合宿は久しぶりに日間賀島に行き、丸二日間撮影しました。

部活動は、例年と同様で、①写真部としての撮影会、②土曜セミナー撮影、③街美ボランティア撮影、④部員各自が個性豊かな作品を撮影、という四部門に於いて本校の文化祭で作品展を実施します。

さらに私学展に出品した作品を、学校内で展示をしたいと考えています。

理科部

【顧問】佐川 貴之



近藤 義高



夏目 大輔



理科部は現在十名程の部員で活動しています。理科や実験について好きな生徒が多く、スライムの実験や研究から始まり、カルメ焼き、電気パン、硫酸を用いた脱水反応や鶏頭の水煮を使った解剖など基本的な実験を行っています。

部員はほとんど機械科・商業科の生徒で、化学や理科を普通科ほど学習していません。しかし、三年生を中心に、自ら考え会議を行い、意欲的に部活動を行っています。活動を通じて少しずつ知識や技術も向上しており、下級生にも受け継がれています。

二学期に入ってから、ある程度、実験の基本的な操作ができるようになってきたので今後は大気や水質の調査などより深いテーマである程度、長いスパンでの活動をしていきたいと思っています。

ワープロ部

【顧問】加藤 一夫

稲熊 誠



ワープロ部は、現在二年生三名、二年生四名、三年生三名の十名の部員で活動をしています。情報関連の諸検定試験の取得と県内の競技大会出場を目指して活動しています。

今年度より全商協会のワープロ検定試験もビジネス文書実務検定試験と検定試験名も変更され速度部門と文書部門に分かれて実施するようになりました。その対応も考えながら日々練習を重ねています。

現在の分野においてもコンピュータが必要不可欠なツールになってきていますので、コンピュータを使いこなせるように今後も日々練習を重ね、さらなる技術向上を目指して頑張りたいと思います。

茶華道部

【顧問】栗田美穂子

阿部真寿美

香田 孝

堀沢 彩奈



茶華道部は、現在十七名で活動しています。男子八名、女子九名とここ数年前から男子部員も増え喜ばしい限りです。

茶の湯は、二服のお茶をたて、それをいただくというシンプルなお動作ですが、現代に忘れつつある人と人の理想的な関係のあり方を示しているように思われます。部員もその心を大切にして日々練習に励んでいます。

四年前より「表千家学校茶道登録校」となり免状取得ができるようになりました。また、文化祭や土曜セミナーにも積極的に参加し成果をご披露し励んでいます。

華道については、毎年村雲流いけばな展に参加しています。昨年度は、自由花(秋の調べ)の作品を出展しました。



村雲流秋季いけばな展
平成24年4月
中村区役所講堂

美術部

【顧問】今枝 悦子

榊原 亜紀

市村 佳子



茶道・華道をとおして、心豊かな人になってほしいと思っています。卒業生の皆様、ぜひお立ち寄り下さい。

美術部は、人数の増減はあるものの、毎年地道に活動が続いています。

今年は男子四名を加え現在女子十五名、男子五名で活動しています。

生徒の中には進学希望者やWスクール利用者が多く、月々水は進学、補習や専門学校を優先し、水々金の三日間活動しています。

美術室もなく道具もそろわない中での活動にも足りなさを感ずる者もいます。

又専門の先生がいない上でのとりくみであり限界はありますが、スケッチブックだけでなくパソコンを持ちこんだり籐工芸に挑戦したりと絵画だけにこだわらず創作にとりくんでいます。

海外との絵手紙交流や大学の無料デッサン講習会に出かけていたり、あらゆる機会を学びの場ととらえて積極的にとりくむ姿勢が身についてきたように思います。文化祭にむけて展示発表の準備を進めながら、自分のクラスの企画の中核となつてクラスに貢献する役割を担うことを目標と

漫画研究部

【顧問】山本 和夫

濱田 佑香



して現在活動中です。
主體的に周りに働きかけ、自信を持つて物事に関わってゆくきっかけとなる部でありたいと願っています。

今年漫画研究部の顧問として、新しく漫画のことをよく知っている濱田先生をお迎えしました。

今年本校が二〇〇周年を迎える年です。そこでぜひ出場したいと力を入れて臨んだ第二十三回全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)の予選だったのですが、そこには通らず、本戦への

出場はかきませんでした。
名古屋にお見えになった審査をされた先生にもお話をうかがえ、また他の先生からもアドバイスをいただきましたが「絵はあいかわらずうまい。ただ絵の中でテーマのアピールが弱い。」という、以前出された課題を今回もまたいただくことになりました。

今の部員は自主的に部誌を作成したりする積極性もあり、今後も部活動の中で、色々なコンテストに応募したり、お互いの作品の講評を通じてレベルアップを図り、「まんが甲子園」再出場に向け、リベンジを果たしたいと思っています。



剣道同好会

【顧問】直江 崇

木下 優

佐伯 樹弘



今年度、剣道同好会は二年生を迎えて男子七名、女子四名の計十一名で活動しています。活動は、平日の放課後と土曜日の午前中に男女合同で行っています。

強化練習会や練習試合などにも積極的に参加し、他校の練習風景や様子などを見て、それを本校に持ち帰り、自分たちの練習に活かせるよう試行錯誤しています。春の総体予選では男女とも団体戦一回戦敗退という結果になってしまいましたが、その悔しさをバネに夏休みは体力作りや徹底した基礎練習を中心としたメニューで力をつけ、愛知県工業大会では個人戦で三回戦まで勝ち進むまでに成長した選手もいます。三年生最後の大会となった市民スポーツ祭では惜しくも団体戦初勝利を逃しましたが、そのことが二年生の選手にとつての今後のモチベーションに繋がっていくと思います。

九月中旬に控える愛知県私学祭は新チームになつて初めての大会になります。二年生が一人しかいない中で、他の一年生をしつかり引張つてリーダーシップを取つてくれています。三年生が抜けると団体戦に出場可能な人数ぎりぎり大会に臨まなければなりません。その分、普段の練習から個々が高い意識を持つて取り組む姿勢が大切になってきます。

顧問三名も懸命に指導に励んでいます。思い



ボウリング同好会

【顧問】信田 一浩



享栄高校ボウリング同好会の現在の部員数は、三年生二名、二年生二名の計四名、顧問は信田が担当し活動しています。

主なクラブ活動はボウリング競技という性格上、学校では行えないため、名古屋市内の「星が丘ボウル」や「スポーツ名古屋」等で、週二回、約二時間の練習を行っています。

基本的に個人競技ということもありますが、三年生から一年生まで少しでも自分自身のアベレージスコアを少しでも上げられるよう取り組んでいます。デベレージスコアというゲームあたりの平均スコア、大会では一日九ゲーム行います。昨年は幸運にも七月と十二月の二つの全国大会に出場することができましたが、今年度は残念ながら、六月の「全国高等学校選手権大会愛知予選」には予選落ちしてしまいました。現在は十一月の「全国高等学校対抗選手権大会愛知予選」通過に向けて練習しているところです。

ボウリングという遊びや娯楽としてのスポーツと思われがちですが、競技としてのボウリングは一日に九ゲーム行い、その合計点数を競います。これは一度の大会につき単純計算で百七十球近く連続して投げ続けることとなります。

また、ボウリングの球の重さは男子の場合およそ十五ポンド（約六・八kg）あり、選手の中には球の動きに変化をつけるため指先や腕・肩を捻り、その結果、身体を痛めてしまう者も少なくありません。娯楽のボウリングとは異なり一

ダンス同好会

【顧問】中道 剛



ダンス同好会顧問の中道です。現在、三年生四名、二年生十四名、一年生七名、合計二十五名の部員で、毎日放課後、アトリウムで活動しています。

学内では文化祭、予餞会などの学校行事で、学外ではイベント等への出演に向けて練習に励んでいます。それぞれの発表する場所に向けて、練習をしています。これからは、ダンスの大会などにも出場して活動する場を拡げたいと考えています。

また生徒のダンスに対する心構え、意識改革に取り組んでいきたいと考えています。「楽しいからダンスをする」から「ダンスを通じて何ができるのか」を発信していくことができるように取り組みたいと考えています。

また他の高校のダンス部との交流など、幅広い活動ができるようにしていきたいと考えています。よりよい方向に進化させるべく活動をしていきたいと思います。これからの活動も温かい支援をよろしくお願いします。

図書同好会

【顧問】田中 邦彦



豊永 真美



村田 好陽



現在の図書同好会は、従来の図書同好会から内容をまったく変更されて、小説を書く事をしていきます。と言っても指導して下さる先生が、大嶋先生で、全とおまかせしてあり、生徒も、小説を書く事が大変好きな様で、作品作りががらばっている様です。



合唱同好会

【顧問】野口 陽平



合唱同好会は現在、五名の三年生を中心に歌うことが大好きな十数名の部員で活動をしています。

基本的に月曜日を練習日とし、月曜が休みの場合は火曜日に練習を行っています。

今年も数名の新入生が入部しましたが、ほとんどの生徒は合唱を音楽の授業でしか経験したことがありませんでした。そのため、先輩の指導のもと、筋肉トレーニングや音とり、ロングトーンなど基礎の練習から行っています。

今練習している曲は「時の旅人」で初心者にも歌いやすい曲にすることで、歌うことの楽しさを知ってもらえるように心がけています。練習環境や部員数など厳しい面も多々ありますが、歌うことの楽しさを忘れずに頑張っていきたいです。特に今年は享栄創立百周年であるため、文化祭や予餞会などの学校行事に積極的に参加し、学校を盛り上げていきたいと思っています。



アーチエリー同好会

【顧問】杉浦 俊也



戸谷 道明



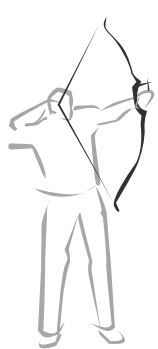
現在、アーチエリーサークルは夏に三年制が引退し、二年生〇名、一年生五名の計十五名で活動しています。

練習場所は、瑞穂アーチエリー場を中心に、週五日の活動をしています。

文武両道を念頭に掲げ、東海大会・インターハイを目指し日々練習に励んでいます。

今年の六月には女子部員から一名、東海大会にも出場することが出来ました。チームとしても、団体戦で次の大会に勝ちあがれるように、一人一人がチームの一員であるという自覚を持って、お互いに競い合い、時には、励まし合いながら活動しています。

また、今年、創立から四年間アーチエリーサークルの顧問を務めて頂いた中川知子先生が、家庭の事情により、生徒からも惜しまれつつ退職をされました。中川先生が教えて下さったアーチエリーに対しての精神や技術を、しっかりとこれからも残していくために、部員一同一丸となって、目標に向かって練習を重ねて行きたいと思っています。



情報処理同好会

【顧問】大矢 貴子



近藤真紀子



情報処理同好会は二年生が三名、二年生が五名、三年生が三名の合計十一名が活動しています。

情報処理検定の部門のうち、表計算(エクセル)検定の合格を目指して勉強しています。

また、表計算以外にも、タイピング練習やワードなど、自分のスキルを上げるための練習なら自由に取り組んで良いことにしていますので、みな前向きに頑張っています。

特に、今年度の生徒達は、検定の上級合格を目指して努力しています。



情報技術同好会

【顧問】片山 一成



安田 忠義



松本 亮一



加藤 雅之



私達情報技術同好会は、三年生四名、二年生二名、一年生三名の計九名で日々活動を行っています。

活動内容は、四月・八月は主に八月下旬に開催される、堀川エコロボットコンテストの作品製作、九月以降は、機械科主催の各種検定に向けた学習および、「情報技術」の名前通り、様々な技術を習得する為、パソコンや、各種工作機械を習得など、精力的に活動を行っています。

活動日は、毎週月・火・木の三日間で活動を行っており、部員達の活動に対する意欲は並々ならぬものがあり、今後の展開が非常に楽しみです。

今年は、昨年に引き続き、堀川エコロボットコンテストに堀川浄化のエコロボットを二作品エントリーし、「名古屋市教育委員会長賞」を獲得することができました。

来年度以降に、この結果をつなげていけるよう一層努力をしていきます。また、今後の展開としては、「愛知県高等学校ロボコン競技大会」出場に向け、教育・生徒とともに、ロボットの研鑽を積み重ねていきたいと思います。

簿記同好会

【顧問】尾前 敏雄



兼山 彰宏



部員は、一年生一名、二年生二名という部員で週三回活動しています。

部員数が少ないながら、地道に活動し、商業科の先生方にも「簿記に興味のある生徒や、専門学校に進学する生徒は、ぜひ簿記部へ」と誘いをかけている次第ですが、現在の生徒には「地味」と言う印象があるのでしょうか、なかなか入部に至っておりません。同窓会の皆さんの昔の話を聞くたびに以前のような大所帯にならなくてもせめて二テタの部員が欲しいところです。

週三回の練習では、上級試験にもほど遠いですが、部員の日頃の高校生活やクラスの雰囲気聞きながら、楽しくやっています。本校の簿記部が再生し、先輩の皆さんに少しでも喜ばれるよう頑張っていく所存です。

先輩の皆さんのご健康を祈願いたします。



平成24年度 享栄同窓会事業報告書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

月 日	摘 要	月 日	摘 要
4月 7日	享栄高等学校 入学式 614名(本校体育館)	11月16日	享栄会報7,500部発刊 5,900部発送
4月25日	会計監査 (名古屋国際ホテルに於いて 平成23年度決算書)	12月12日	役員会(百福)
4月25日	役員・常任幹事会(名古屋国際ホテル)	2月13日	役員会(名古屋国際ホテル)
6月16日	総会・懇親会(名古屋国際ホテル)	2月20日	享栄高等学校 卒業式予行練習 細江会長より同窓会入会と奨学金について説明
7月21日	享栄会報第39号原稿依頼	2月21日	享栄高等学校 卒業式 420名(名古屋市公会堂)
10月23日	役員会 享栄会報ゲラ刷り読み合わせ (名古屋国際ホテル)		同窓会長賞贈呈 特 進 蟹江 愛美 機械科 高橋 瞭太

平成24年度 享栄同窓会決算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

基本金の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
入 会 金	840,000	卒業生420名×2,000=840,000
受 取 利 息	4,900	
前年度繰越金	12,605,370	平成23年度から
合 計	13,450,270	

一般会計の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	3,360,000	卒業生420名×8,000=3,336,000 その他10,000
協 賛 金	80,000	同窓会報広告掲載費
受 取 利 息	2,644	
総会参加費	365,000	
前年度繰越金	14,191,017	平成23年度から
合 計	17,998,661	

基本金会計繰越内訳	
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普597241	9,251,085
ゆうちょ銀行 定期貯金	4,199,185
合計	13,450,270

一般会計繰越内訳	
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 普594305	7,025,803
三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 定期1184858	4,203,481
ゆうちょ銀行 0085-5-57903	149,200
ゆうちょ銀行 定額	3,001,594
現金	299,728
合計	14,679,806

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
次年度繰越金	13,450,270	平成25年度へ
合 計	13,450,270	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
記 念 品 費	131,512	総会・優良卒業生記念品購入費
会 合 費	305,042	役員会及び幹事会等
慶 弔 費	44,900	卒業式祝花・葬儀生花・香典代等
消 耗 品 費	39,690	事務局プリンタ
手 数 料	198,429	振込手数料・データ返還費用等
印 刷 費	592,725	会則・幹事会案内状・会報等印刷費
通 信 費	417,539	幹事会・役員会案内状・会報等送料
旅 費 交 通 費	11,080	
協 賛 費	14,000	学校祭・同期会等協賛費
総 会 費	963,938	国際ホテル支払い分
奨 学 費	600,000	6名×100,000
次年度繰越金	14,679,806	平成25年度へ
合 計	17,998,661	

平成24年4月1日から平成25年3月31日までの享栄同窓会の決算を監査しましたところ、諸帳簿・証憑書類の事実と相違ないことを認めます。

平成25年4月27日

監査者

神谷新恵
本多清治



「良い品を心をこめて皆様へ」

スポーツショップ **ミズノ**

野球・ゴルフ・スポーツ全般

SPORTS SHOP

名古屋市南区笠寺西之門 5
TEL 052-821-5474

水野 光 尚 (昭和 46 年卒業)



平成25年度 享栄同窓会事業計画

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日

月 日	摘 要	月 日	摘 要
4 月 7 日	享栄高等学校 入学式 642名(本校体育館)	10 月 中 旬	役員会 享栄会報グラ刷り読み合わせ
4 月 27 日	会計監査(享栄高等学校に於いて 平成24年度決算書)	11 月 中 旬	享栄会報40号発送 2,000部発刊予定
4 月 27 日	役員・常任幹事会(享栄高等学校 視聴覚室)	2 月 中 旬	役員会
6 月 15 日	総会(享栄高等学校 アトリウム)	2 月 24 日	享栄高等学校 卒業式予行練習
7 月 20 日	享栄会報40号 原稿依頼		細江会長より同窓会入会と奨学金について説明
9 月 29 日	享栄高等学校100年記念式典・懇親会 (名古屋市公会堂)	2 月 25 日	享栄高等学校 卒業式(名古屋市公会堂)

平成25年度 享栄同窓会予算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

基本金の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
入 会 金	1,004,000	卒業生502名×2,000=1,004,000
受 取 利 息	2,000	受取利息
前年度繰越金	13,450,270	平成24年度から
合 計	14,456,270	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
100周年寄附金	5,000,000	享栄学園100周年記念事業
次年度繰越金	9,456,270	平成26年度へ
合 計	14,456,270	

一般会計の部
収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	3,442,000	卒業生424名×8,000=3,392,000 その他50,000
協 賛 金	100,000	同窓会報広告掲載費
受 取 利 息	3,000	
前年度繰越金	14,679,806	平成24年度から
合 計	18,224,806	

支出の部

単位:円

科 目	金 額	摘 要
記 念 品 費	200,000	総会及び優良卒業生記念品購入
会 合 費	400,000	役員会及び幹事会
慶 弔 費	50,000	香典、生花、御祝金等
消 耗 品 費	80,000	事務用消耗品費等
手 数 料	120,000	振込手数料、発送諸費用
印 刷 費	450,000	会報・役員会案内状等印刷費
通 信 費	100,000	会報・役員会案内状会報等送料
旅 費 交 通 費	15,000	タクシー等旅費
協 賛 費	30,000	学校祭・同期会協賛費
総 会 費	20,000	飲料水
奨 学 金	600,000	6名×100,000
次年度繰越金	16,159,806	平成26年度へ
合 計	18,224,806	

重量 鳶

大型空調機等をオフィス・病院・工場に設置し
快適な生活空間創りで社会に貢献

株式会社 中央組

名古屋市中村区並木1丁目60番地

代表取締役 北田 哲 也 (昭和63年卒業)





Vase

Japanese, Heisei era, 2006
Hideo Yuchi, Japanese, born in 1941

Dimensions/Ceramics: 43.2 x 40.6 cm (17 x 16 in.)
Medium or Technique/Stoneware

Classification
Ceramics

平野さん制作 常滑焼のつぼ



06年購入 米収集家が寄贈

つぼは高さ、細くも
四十七、前後の指の
大作で、五十年に
れた。ひもがした
滑の土を積み、い
穴で二、三、度
焼いた。黒色の小
石を土に混ぜ、そ
赤茶色などの表
もに味わい、仕
つぼは、展示さ
れないが、他の日
米人の収集家、
が、六、常滑の
ヤリを、つぼに
平野さんのつぼ
購入。うち、一
年、ボストン、
米ボストン美術館に収蔵されたつぼが、米ヤサ
ユース州のボストン美術館に収蔵された。
常滑が世界的な美術館に収められるのは珍し
く、平野さんは「制作から何年たつて、ボス
トン美術館まで行くのは、と驚いている」
（佐田の）

米ボストン美術館に収蔵

（中日新聞に掲載された記事と作品をご紹介します）

昭和35年卒業の陶芸家平野祐二さんの
作品がボストン美術館に収蔵されました。

中日新聞 2013年（平成25年）8月8日 掲載

同窓会事務局からのお知らせ

平成13年9月から享栄高等学校のホームページが開設された事はすでにご報告済みです。その中に享栄同窓会のホームページも開かれており、何時でも同窓会の情報に接する事が出来ます。また、享栄高等学校100周年記念冊子が事務局にございます。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。数に限りがございますので、ご希望の方はお早めにご連絡ください。

ホームページアドレス

<http://www.kyoei-h.ed.jp>

平成10年から享栄同窓会終身会員制度が設けられました。会則によって会費納入が一万円になった方は、終身会員に登録され、以後の会費納入が不要となりました。又平成10年以降の卒業生の方は、全員卒業時に終身会員として、一万円納入頂いております。

平成25年度
享栄同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒業年度
名誉会長	垣尾 和彦	理 事 長
相 談 役	塩田 郁夫	昭和17年
会 長	細江 利夫	昭和40年
副 会 長	澤山 晃	昭和32年
"	岩月 宏之	昭和36年
"	長谷川 翠	昭和40年
"	西脇いずみ	昭和42年
"	山中 庄吾	昭和47年
"	兼本 尚浩	昭和50年
"	名倉 誠司	昭和56年
"	植木 広次	昭和59年
"	畑中 清詞	昭和60年
"	遠藤隆一郎	平成 2年
"	大林 順子	平成 5年
監 事	本多 清治	昭和35年
"	神谷 新恵	昭和35年
事務局長	加藤 聖大	平成12年
会計(事務長)	坂野 勝彦	

編集後記

第40号も皆様のご協力により発刊することができました。今号よりご案内していたとおりホームページでの閲覧にさせていただきます。ぜひ、お友達にもお知らせください。ご多忙中寄稿していただいた方には厚く御礼申し上げます。また、享栄学園百周年記念式典も皆様方のご協力により終えることができました。誠にありがとうございました。

（同窓会事務局）